

戸田 英子さん（倉吉市）に春の叙勲 ～行政相談委員は鳥取県内で一人～

このたび、行政相談委員の戸田 英子（とだ えいこ）さんが、令和5年春の叙勲（瑞宝双光章）を受章されます。今回、行政相談委員で受章されるのは全国で8人、鳥取県内では戸田委員のみです。

戸田委員は、平成16年4月以来、19年以上にわたり、地域住民から、700件近くの相談（暮らしの困りごと）を受け付け、困りごとの改善に尽力されました。

伝達式は、5月10日（水）にホテルニューオータニ（東京千代田区）で行われます。

◆ 戸田 英子 行政相談委員

- ・ 昭和22年1月生まれ（76歳）
- ・ 倉吉市在住
- ・ 委嘱年月日：平成16年4月1日
- ・ 担当区域：倉吉市



行政相談とは

担当行政機関とは異なる立場から、行政などへの苦情や意見、要望を受け付け、その解決や実現を促進するとともに、行政の制度や運営の改善に生かす仕組みです。

行政相談委員とは

行政相談委員法に基づき、総務大臣から委嘱された民間有識者で、地域住民の身近な相談相手として、各市町村に1人以上（鳥取県内に48人、全国に約5,000人）が配置されています。

《戸田委員の主な業績》

- ・ 平成16年4月から現在まで、定例行政相談所（毎月2回、市役所第2庁舎など）を開設するなどし、住民からの相談を受け付けています。相談件数は、県内の委員でも特に多く、平成16年度～令和4年度までの19年間で、計653件となっており、そのうち339件は直近6年間の件数で、次の①～③の取組が件数の増加につながっています。

〔裏面に続きます〕

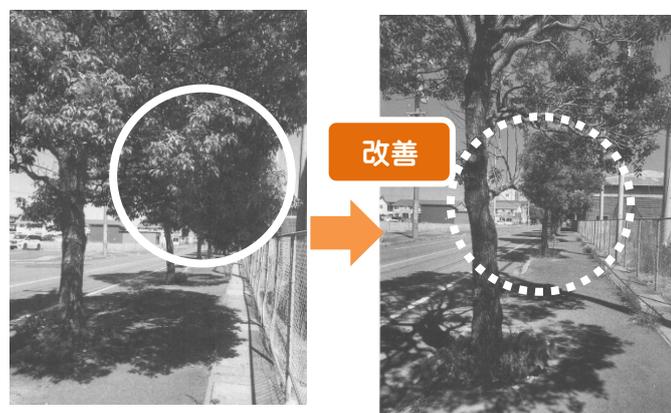
- ① 相談者に寄り添った親身かつ粘り強い相談対応で、積極的な現地確認や関係機関への聞き取り、働きかけを実施
 - ② 県内の高校生を対象に行政相談出前講座を開催し、行政相談制度や改善事例などについて説明するとともに、行政に関する意見要望や困りごとを受け付け、ある年は一度に20件近い相談に対応
 - ③ 倉吉市に防災無線放送による広報を働きかけ、また、市内の全13コミュニティセンターの広報誌等に行政相談についての案内を掲載するなど、積極的に行政相談制度をPR
- ・ その他、平成23年5月から現在まで、鳥取行政相談委員協議会の副会長を務め、豊富な経験を基に、県内の行政相談委員の育成・活動の活性化などに尽力されました。

《戸田委員が対応した主な相談事例》

① 街路樹の枝の伐採

街路樹の枝が歩道に張り出しており、自転車で走行中のこどもの顔に当たった。夕方は薄暗くなり、更に危険なので伐採してほしい。

→ 委員が現地確認し、市に改善をお願いしたところ、1週間後には問題の枝が伐採されました。



② 集水枡の蓋の交換

集水枡の鉄製の蓋に穴が開いており、住民が清掃を行う際に危険なので何とかしてほしい。

→ 委員が現地確認したところ、蓋が腐食しており、危険な状態でした。管理する市に改善をお願いしたところ、新しい蓋に交換されました。



③ 不法投棄の改善

住宅地の道路沿いの空き地に家具や電化製品などの廃棄物が放置されており、周囲の生活環境や景観に悪影響があるので撤去してほしい。

→ 市及び県と委員が現地確認したところ、県条例違反の可能性もあることが分かりました。市に対応をお願いし、その後、業者によって廃棄物が除去されました。



相談に応じる戸田委員（左）

【本件照会先】

総務省鳥取行政監視行政相談センター
行政監視行政相談課長 成相 重行（なりあい しげゆき）
電話：0857-24-5541 メール：totor30@soumu.go.jp